

名家連ニュース

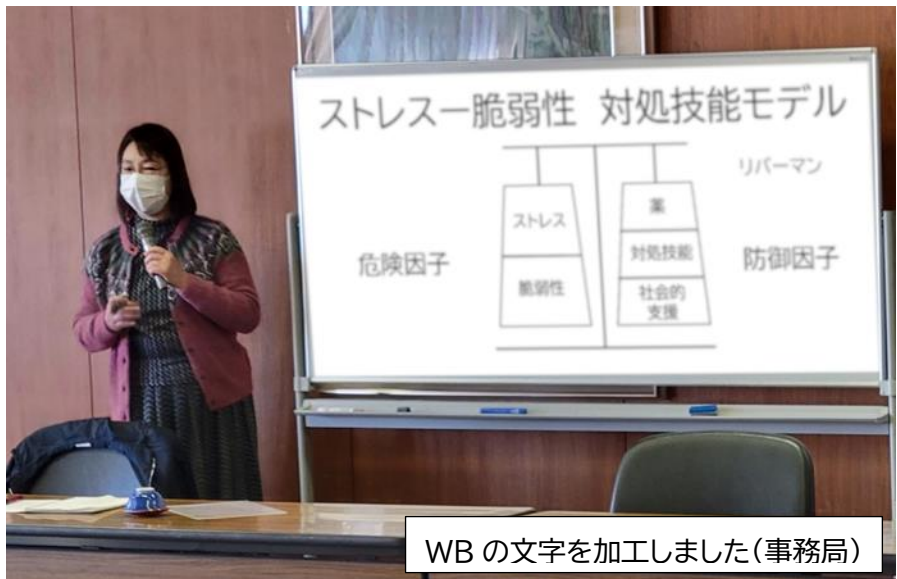
令和3年12月8日(水)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX(052)846-5576 NO.839号

◆ 11月家族SST講座報告 ◆

令和3年11月27日(土)家族SST講座を、名古屋市北区総合社会福祉会館7館中会議室で開催しました。コロナは全国的に減少しましたが、コロナ感染症予防対策をしつかりとしながら、吉田先生とケースワーカーの中村さんを含め19名が参加しました。

初めに参加者が順番に、「最近の嬉しかったこと、良かったこと」を発言しました。『家族方が入院の息子と対面出来るようになり、15分面会できた。』『コロナがおさまり、外へ安心して出来るようになりました。』『息子は彼女とデートに気兼ね無く外出ようになった。』等々、明るい話題が参加された皆さんから話されました。

その後、吉田先生から当事者家族の関わり方で困っている具体的な事柄(一部先月の続きを含めて)についての問いがあり、休憩となりました。休憩をはさみ後半は、困っている具体的な事柄への対処として「ストレス脆弱性・対処技能モデル」について、吉田先生から説明がありました。カリフォルニア大学のロバート・リバーマンが考案したもので、生活対処技能を向上させることによって、ストレスと脆弱性の危険から心身を守りバランスを保つ考え方は、てんびんの棒の左側にストレスと脆弱性の危険因子があり、右側には薬、対処技能、社会的支援の防御因子があり、右側と左側のバランスが取れていれば安定しています。



WBの文字を加工しました(事務局)

次に、面会やSSTに「コインマップ」を活用する紹介がありました。「コインマップ」とは当事者が、いま自分と関わりのある人たちとの関係をどう感じているか、その気持ちに従って自分と身の回りの人を1円から500円のコインに当てはめて置いていく方法です。アセスメントに有効であり、また、支援者が当事者に、いまの配置をどう変えていきたいかを聴くことから、SSTの具体的な練習課題を一緒に見つけて、練習の動機づけに用いることができます。お互いの顔を見ずに2人ともコインを見ているので会話に伴う緊張が少なく良い。若い人はゲームに慣れているので、ゲーム感覚で楽しみながら気付きを深められるそうです。

次回のSST講座は12月18日(土)、1月休、2月19日(土)、3月26日(土)の予定です。

(担当者 富永)